

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 175 4月号

2020年4月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)



読書と私 No.165

「本からの 豊かな人生」

揖西町 ^{なむら} 苗村 信行

私が本を読むのが好きになったのは、小学校3年、4年生の時の担任の金輪幸子先生が読書をすすめてくださったおかげです。4年生の秋に、金輪先生が応募して下さり、毎日新聞社の全国読書感想文コンクールで入賞するという榮譽に恵まれ、そのことがきっかけで、ますます読書が好きになりました。特に偉人伝を読むことが好きで、中学では図書室で本を借り、高校の時は、今の龍野歴史文化資料館の場所にあった図書館をよく利用しました。国家公務員の郵政コースに合格しそちらに進みましたが、やはり大学に行きたいという夢をあきらめきれず、3年後に経営関係の短大へと進みました。その時も、大学4年分を2年で勉強しようと、必死に本を読みました。その時の読書の経験は、その後の社会人生活に大いに役立ちました。

社会人になってからは、本屋、古本屋で本を買って帰るのが楽しみで、主にビジネス書をよく読みました。なかでも、船井幸雄氏の『上に立つ者の人間学』稲盛和夫氏の『生き方』という本に感動しました。その後それぞれの勉強会に入会し教を乞うことができたのは、私の会社員人生には、大変ありがたい出来事でした。

3年前に会社を退職してからは、龍野図書館に通っています。大好きな寅さんの本は1字1句読みますが、何か調べたいときは、10冊借りた中で1冊の中心となる本を読み、あとの本は必要な箇所だけ読んでいます。まさに、贅沢な本の読み方といえるでしょう。今、私は、「寅さんサミットを龍野に誘致する会」で活動しています。昨年、映画『男はつらいよ』シリーズは50周年を迎えました。私たちの住む龍野は、シリーズ17作目『男はつらいよ 寅次郎夕焼け小焼け』のロケ地です。2020年7月、あいあい塾でこのお話をさせていただく予定です。興味のある方は、ぜひお越しください。

(お問い合わせは揖保川公民館まで ☎ 0791-72-2412)

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。



日本には「花鳥風月」という言葉があるが、今日の我々にとって鳥は「観る」「飼う」「食べる」などのイメージが強いのではないだろうか。本書は、文化人類学者であり鳥類研究所所長

でもある著者が、太古から近未来までの日本人と鳥の関係性を文化、科学の両面から検討していく。

縄文時代、鳥を食料としていたと示す遺跡は多いが、鳥を象^{かたど}った土器などはほとんどなく、まだ神格化する思考は無かった。それらは弥生時代から増え、古墳時代には鳥に関する説話が多くなる。『出雲国風土記』では言葉が話せない神様のところへ白鳥が飛来し叫んだことから喋れるようになったとある。平安時代には『枕草子』で季節の移ろいの象徴として取り上げられている。また、絵画のモチーフとしても多く描

かれているが、ジョン・グールドの『鳥類図譜』のように芸術面だけでなく生態図鑑としても注目すべきものもある。害鳥として狩猟対象だったコウノトリは保護後、豊岡市の豊かで多様な自然生態系をもつ環境を宣伝する形となり、地域の観光資源だ。

現在、鳥の行動や身体構造を真似た技術は幾つも実用化され、高速で走行しても音の小さい新幹線のパンタグラフは、存在を消して獲物を捕えるフクロウの羽の構造からで、GPSの表示「バードビュー」は鳥の視覚を模している。

飛翔は人間にとって憧れであり、恐れでもあった。著者は鳥の研究の軍事利用を危惧し、鳥と人間の完全な共生はないとしながらも、その関係性を「さまざまな文化の型で、人間の側が自らの『知恵』を使って永遠に探り続けることが大切」と語る。歴史や芸術を含む鳥類学の多岐にわたる例が紹介され、鳥を身近に感じさせてくれる一冊である。(新宮図書館 梅村)

※申込、問い合わせは各図書館まで

トピックス

こどもの読書週間 2020 (4月23日~5月12日)

標語 「出会えたね。とびっきりの1冊に。」



「こどもの読書週間」は、子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、昭和34年に誕生しました。この機会にぜひお子さん、お孫さんと一緒に図書館にお越しください。

新宮図書館・揖保川図書館

御津図書館

“あけてからの楽しみ”

～図書館福袋～

年齢ごとに図書館員がおすすめする児童書を3冊ずつ袋詰めにして貸出します。今まで手に取らなかった本で世界を広げ、とびっきりの1冊と出会ってください！

【日時】4月23日(木)~5月12日(火)

【場所】御津図書館 児童コーナー



「一日図書館員」募集！

本の貸出や返却、本のカバーかけなど図書館のお仕事を体験してみませんか？

【日時・場所・定員】

5月3日(日)	新宮図書館	3名
5月5日(火・祝)	揖保川図書館	3名
5月6日(水・振休)	新宮図書館 揖保川図書館	各館3名



※いずれも時間は9時30分~16時まで

【対象】市内在住・在学の小学5年生から高校3年生まで(経験者は除く)

【申込】4月26日(日)までに各図書館へ(電話可)

『ピーターのがみ』

エズラ=ジャック=キーツ さく きじま はじめ やく 借成社



ピーターは今度の誕生会にエイミーを呼びたいと思い、手紙を書きました。大切な手紙を書き終え、

出しに行こうとすると、外はあいにくの空模様です。レインコートを着て出掛けましたが、突然、いなびかりがし、強い風が吹いて、手紙が手から離れてしまいました。ピーターは手紙を必死に追いかけてきました。そこへ、偶然エイミーが通りかかり一緒に追いかけてくれました。内緒で手紙を届けたいピーターはひどく慌てて、エイミーにぶつかってしまいます。エイミー宛と気づかれないうちに手紙を取り戻し、急いで郵便箱に押し込みましたが、エイミーは泣き

ながら遠くへ駆けて行ってしまいました。ピーターはエイミーを怒らせてしまったと、悲しくなりました。

誕生会の日がやってきましたが、集まった友達の中にエイミーの姿はありません。そろそろケーキを運んでもらおうとしている時に、エイミーがペットのおうむを連れてお祝いに来てくれました。「おたんじょうび おめでとう、ピーター。」ピーターは笑顔でろうそくを吹き消しました。

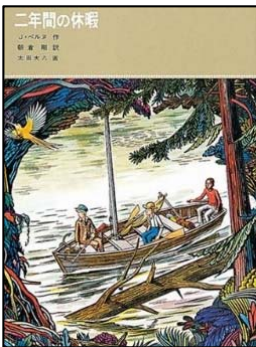
コラージュを取り入れたはっきりした色調と表情豊かな絵が、手紙を出すまでのピーターの緊張感や、大好きな女の子が来てくれた喜びをよく表しています。

読んであげるなら5歳くらいから。

(御津図書館 井平)

『二年間の休暇』

ジュール・ベルヌ 作 朝倉 剛 訳 福音館書店



1860年2月、ニュージーランドにある寄宿学校の8歳から14歳までの男子生徒14人は夏季休暇を利用し、家族と2か月の船旅を予定していました。ところが、出航前夜、少年たちと見習水夫の黒人少年を乗せた船が沖に

流され、暴風雨に遭い難船してしまいます。漂流の末、辿り着いたのは無人島でした。

彼らは島内を探検し、発見したほら穴を住居に改修します。共同生活では、リーダー選挙や役割分担、上級生による下級生への学習指導、狩りや漁で食糧や燃料を確保する労働など、創意工夫しながら秩序ある暮らしを送ります。

そんなある日、かねてから対立を繰り返してきたフランス人のブリアンとイギリス人

のドニファンが衝突し、ドニファンたちは住居を去ってしまいます。同じ頃、難船した海賊が島に上陸し、危機を察知したブリアンはドニファンを連れ戻そうと捜索します。ブリアンは野獣に襲われていたドニファンの命を救い、深手を負います。ドニファンはブリアンの温かい友情に心を動かされ、一致団結することを誓いました。

結束力を高めた少年たちは知恵を絞って勇敢に戦い、激闘の末に海賊を撃退します。そして、大型ボートを修理して出航し、オーストラリアに向かう船に救助され、2年ぶりの帰国を果たします。

さまざまな出来事を通して、国籍や慣習の違いから起こる偏見や反目を乗り越えて、少年たちが成長していく冒険小説です。日本では、『十五少年漂流記』として知られる作品の完訳です。小学校高学年くらいから。

(揖保川図書館 楠田)



4月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

18日(土)
11時～11時20分
『どうやってねるのかな』他

揖保川図書館

【対象】1～2歳児、保護者

16日(木) 10時30分～10時45分
『ころころころ』他

【対象】3～4歳児、保護者

18日(土) 10時30分～10時50分
『あおくとときいろちゃん』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

20日(月)・26日(日)
11時～11時20分
『いちご』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

19日(日) 11時～11時20分
『ティッチ』他

【対象】5歳児～

19日(日) 11時30分～11時50分
『おおかみと七ひきのこやぎ』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

18日(土)・25日(土)
10時15分～10時45分
「金色とさかのオンドリ」他

揖保川図書館

18日(土)
11時～11時30分
「マメ子と魔物」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

御津図書館

15日(水)
13時30分～15時30分
『冬の梅』
芝木 好子 著

★新型コロナウイルスの拡大防止のため、現時点で4月12日(日)までのイベント等を中止、延期します。今後の予定は広報、ホームページ等で追ってご案内いたします。

★マスク着用をお願い★

新型コロナウイルス対策のため、イベント参加の際は、できる限りマスクの着用をお願いします。



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

「こどもの読書週間」展示 図書館で発見!

世界の子どものたちの暮らし、動物たちのふしぎな生態、珍しいスポーツ... 読むだけでわくわくするような本を集めました。この春は図書館で、出会ったことのない「発見」をしてみませんか。

【期間】4月28日まで

新宮図書館

生まれる、始まる

新宮図書館リニューアルオープンを記念して動物の誕生や植物の芽生え、〇〇の起源、商品開発秘話、作家の処女作など、何かが生まれる、始まるをテーマに本を紹介します。新しくなった図書館で借りる本の一冊にどうぞ。

【期間】4月27日まで

揖保川図書館

部活+青春小説

スポーツ系や文化系など学校の部活動が舞台になっている小説を集めました。さまざまな部活を通して、青春の物語を読んでみませんか?

【期間】4月29日まで

御津図書館

アート小説

すぐれた絵画や音楽には秘められた歴史や、芸術家たちのドラマが詰まっています。アートは小説より奇なり! 読書でアートを 즐기ください。

【期間】4月29日まで